

平成27年度



赤木っ子だより

平成28年3月10日 No.38 文責 校長 橋本忠秋

《教育目標》

『豊かな心と自ら学ぶ力をそ
なえた、たくましい児童の育成』
あ 明るく元気な子ども
か 考えて行動する子ども
ぎ 気力ある子ども

一平成27年度の「山猫軒」が終了一

図書委員会の子ども達が創作劇をつくり、3月8日(火)の休み時間に図書室で、約60名(1~6年生と教職員)を迎え、披露しました。笑いが劇中にたくさんあり、みんなを楽しませてくれました。



一子ども達が記録更新一

3月8日(火)現在で取りまとめました総読書冊数は、29,176冊で、一人あたり108冊です。昨年を大幅に超えました。

また、50冊以上の読書達成者は、270人中222人です。この数も前年を大きく上回りました。すばらしい子ども達です。

一今年最後の読み聞かせ一

来週16日(水)に、ボランティアの皆さんによる最終の読み聞かせがあります。

一6年生が感謝の会一

6年生が企画した感謝の会が、3月3日(木)を中心に開かれました。私は校長室で3人の子ども達と一緒に、トランプゲーム(ババ抜き)とジエンガをしました。ジエンガでは、いつ倒れるかドキドキでした。終わりに、心のこもった手紙と10センチメートル四方のミシン縫いのハンカチをいただきました。「6年生のみなさん、ありがとうございました。」



「学校教育に関するアンケート(保護者)」集計結果について ③

前号に続き、今回は「保護者の皆様が望まれるお子さんの姿」にかかわる設問に関する内容について掲載します。AからDの欄の数値は、割合をパーセントで表示しています。

1 「明るく元気な子ども」の観点から望む子どもの姿について

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

No.	項目	A	B	C	D
1	基本的な生活習慣が身に付いている子ども	67.5%	25.2%	7.3%	0.0%
2	友達の良さを互いに認め合える子ども	69.9%	28.5%	1.6%	0.0%
3	ふれあい体験活動に進んで参加する子ども	64.5%	33.5%	1.6%	0.4%
4	他の人たちに対して、思いやりの心をもって接することができる子ども	75.1%	23.3%	1.6%	0.0%
5	異学年や地域の方々と積極的に交流できる子ども	66.7%	30.5%	2.8%	0.0%
6	朝の活動、清掃活動、特別活動に進んで取り組む子ども	65.0%	31.7%	2.4%	0.8%
7	特設クラブ活動へ積極的に参加する子ども	55.7%	33.7%	6.1%	4.5%

特設クラブ活動への参加について、子どもに期待したいと考えている保護者の方々はA・B合わせて89.4%で、ほぼ9割です。他項目は9割以上の保護者の方々が、子どもに望む姿として期待しています。これらの項目の中で最も高かったのは、「思いやりの心をもって接することがで

きる子ども」で「A：よくあてはまる」が75.1%、A・B合わせる98.4%の方々が望まれています。思いやりの心を育てるために縦割活動を「あかりんタイム」等で取り入れています。新年度はさらに充実させるために年間をとおした縦割班による清掃活動を実施します。このことは、他項目(No.2.3.5.6)と関係が深く、意味は大きいと考えています。

2 「考えて行動する子ども」の観点から望む子どもの姿について

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

No.	項 目	A	B	C	D
1	自分から進んで学習課題に取り組むことができる子ども	69.1%	22.8%	7.3%	0.8%
2	基礎・基本を身につけた子ども	70.7%	24.8%	3.7%	0.8%
3	友達と協力し合って学習に進んで取り組むことができる子ども	72.4%	24.8%	2.4%	0.4%
4	自分の健康や安全を守ることができる子ども	76.0%	20.7%	3.3%	0.0%
5	家庭学習に進んで取り組む子ども	67.5%	24.4%	8.1%	0.0%
6	進んで読書する子ども	68.7%	20.7%	8.1%	2.4%
7	学習などで、コンピュータや図書資料等を適切に活用することができる子ども	59.1%	29.6%	10.5%	0.8%

「考えて行動する子ども」の観点からも、A・Bを選択した割合はほとんどの項目で9割以上であり、ほとんどの保護者の皆様が望んでいる子どもの姿です。また、「A：よくあてはまる」も高い比率になっています。私たちも期待する子どもの姿の実現に向けて、指導のさらなる充実を図っていききたいと思います。

3 「気力ある子ども」の観点から望む子どもの姿について

A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：あてはまらない

No.	項 目	A	B	C	D
1	廊下の歩行や休み時間の過ごし方に気を付け、事故にあわないよう注意することができる子ども	76.4%	20.7%	2.8%	0.0%
2	「飛び出しをしない。ヘルメットをつけて自転車に乗る。」を守る子ども	80.9%	14.6%	3.7%	0.8%
3	自分の命を守るため、不審者への対応を身につけた子ども	81.3%	17.9%	0.8%	0.0%
4	自分の体力の劣っているところが向上するように進んで運動に取り組む子ども	70.3%	22.4%	6.9%	0.4%
5	屋内外で、元気に運動したり遊んだりする子ども	75.6%	19.1%	5.3%	0.0%
6	外から帰ったら、手洗い・うがいをするなど健康な生活習慣が身についた子ども	69.1%	21.5%	9.3%	0.0%
7	放射線から自分の身を守るための知識や習慣が身についた子ども	49.2%	36.6%	12.2%	2.0%
8	給食は残さず食べ、栄養のバランスのとれた食事をする子ども	74.4%	22.0%	2.8%	0.8%

No.1～8までの各項目ともA・Bを合わせるとほぼ95%前後の保護者の方が望む子どもの姿として挙げています。直接命に関わる項目は、「A：よくあてはまる」が80%を越えています。命を守る取り組みは最重要事項であり、今後も充実させていきます。家庭や地域の協力なくしては実現できませんので、よろしくお願いします。私たちも「セーフコミュニティの学校づくり」を含めて、安全に関わる情報発信をしていききたいと思います。

No.7の放射線関係は他の項目に比べると少し割合は低いですが、A・Bを合わせると85.5%で、しっかりと指導する責務があると考えております。

4 望む子どもの姿を大事にした教育活動の推進に向けて

保護者の皆様が、期待されている子どもの姿や願いを大事に受けとめ、平成28年度の教育課程編成に反映させています。学校教育がさらに充実するよう教職員一同は責任の重さを自覚して、しっかり取り組んでいききたいと思います。